

令和4年度 建設経済部 重点施策の実施結果

達成状況

S … 目標を上回る結果となった
A … 目標通り達成した
B … 達成したが課題が残っている
C … 達成できなかった

総括	・年々増加している荒廃農地を解消するために、農業者に対して荒廃農地の活用や補助金の活用を周知した結果、目標通りの解消が行われました。また、茶業については、大変厳しい茶業情勢に対応するため、「第2次菊川市茶業振興計画」を策定し、茶産地菊川の生き残りをかけた新たな指針とするため、サブタイトルを「菊川茶産地持続化計画」としました。 ・地域源を活かした観光の推進では、火剣山キャンプ場の利用者数を昨年度実績より上昇させる目標を立てましたが、利用人数は増加するものの週末の天候不順が続き目標人数には到達できませんでした。次年度以降、利用者の利便性向上を目指した施設整備と受け入れ態勢を構築していきます。 ・JR菊川駅南北自由通路の整備については、令和4年4月1日にJR東海と工事協定を締結し、令和4年度に予定した仮設工事を完了しました。令和7年度末の供用開始を目指し引き続き工事を進めてまいります。 ・住宅の耐震化については、建物所有者の高齢化や事業の制度変更によりハードルが高くなったことから、目標を達成できませんでした。災害から生命・財産を守るためにも、耐震化の必要性を周知し、事業を活用してもらえよう取り組んでいきます。 ・幹線道路の整備については、今年度予定していた設計業務、工事が完了しました。引き続き事業効果を早期に発揮するため事業を推進していきます。
----	--

	重点施策・事業	取組内容	達成目標	達成状況	実施結果
1	農業振興と次世代農業モデルの推進 (農林課)	新たな担い手を支援するため、補助事業（経営継承・発展等支援事業費補助金）を活用するとともに、市、県、JA等の関係機関との連携により、経営規模拡大の支援に取り組みます。	補助対象者を2人以上確保します。 (令和4年度新規事業)	A	地域の担い手から経営を継承した後継者が、その経営をさらに発展させることを目的とした経営継承・発展等支援事業費補助金について、2経営体に対して実施しました。引き続き、補助事業後の経営状況を把握するとともに、今後も市、県、JA等の関係機関と連携し、新たな担い手への支援を進めます。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
2	荒廃農地の解消 (農林課)	地域の大切な農業生産の基盤となる農地を確保・保全するため、補助制度（荒廃農地再生・集積促進事業費補助金等）の活用や農業委員会との連携により、荒廃農地の解消に取り組みます。	荒廃農地を3ha以上解消します。 (令和3年度実績：4.2ha)	A	3経営体が荒廃農地再生・集積促進事業費補助金を活用し、合計0.47haの荒廃農地を解消しました。また、農業委員会と連携し農地パトロール等を実施しました。その結果、0.45haの荒廃農地を解消し、2.58haの農地を非農地化により除外しました。これらの取り組みにより、合計3.5haの荒廃農地が解消されました。引き続き、補助制度の周知や農業委員会との連携により、荒廃農地の解消に取り組みます。
3	活力と魅力ある菊川茶の振興 (茶業振興課)	多様化する消費者ニーズに対応し、生産者が安定して茶の生産を行うことができる茶業を目指し、菊川市茶業審議会や菊川市茶業振興計画検討委員会等から意見集約を行い、新たな「菊川市茶業振興計画」を策定します。	「第2次菊川市茶業振興計画」を策定します。	A	計画策定のため、茶業審議会へ諮問を行い各委員会等において計画内容の検討を重ね、「第2次菊川市茶業振興計画」を策定しました。茶産地菊川の新たな指針として関係機関と連携し、計画の推進に取り組んでまいります。
4	茶園整備と集積による生産性の向上推進 (茶業振興課)	茶業の生産性の効率化と省力化を図るため、農地中間管理機構と連携し小区画や分散する茶園の集積を進めます。	農地中間管理事業により5.0ha以上の茶園集積を実施します。 (令和3年度実績：4.8ha)	A	内田・牧之原・小笠南、東地区において、茶生産者3組織が5.0haの茶園集積整備を実施しました。今後においても、担い手や若手生産者などが安定した茶業経営を継続していくための事業として、茶園集積の推進を図ってまいります。
5	商工業の支援と推進 (商工観光課)	円滑な事業承継を促進するため、新たにパンフレットを作製し、市内中小企業・小規模事業者配布することで事業承継の必要性について周知します。	事業承継セミナーを1回以上開催するとともに、市内事業所へ事業承継パンフレットを活用し事業承継の必要性について周知します。 (市内事業者数：1,918事業所) ※令和元年経済センサス基礎調査	A	事業承継セミナーを1回開催し、講師から実体験の説明や事例集等を講演いただきました。また、事業承継パンフレットを作成し、令和3年度「菊川市事業承継アンケート」において「後継者不在」と回答した、より必要性が高い事業者161社に対し、送付し周知しました。今後は、上記事業者を中心に相談対応に努めてまいります。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
6	地域資源を活かした観光の推進 (商工観光課)	火剣山キャンプ場や獅子ヶ鼻砦などの地域資源を活用し、菊川市観光協会や地域おこし協力隊と連携して誘客を図ります。	火剣山キャンプ場の利用者数を令和3年度実績より200人以上増やします。 (令和3年度実績：2,066人)	C	令和4年度の火剣山キャンプ場の利用者は2,093人となり、令和3年度から27人増加しましたが、目標の200人以上には達しませんでした。8月から9月の週末ごとに天候不順が続いたことで利用者のキャンセルが多く発生したことが要因であります。 火剣山キャンプ場の利用促進については、地域おこし協力隊によるイベントの開催や周遊マップの作製により利用促進を図りました。
7	J R 菊川駅南北自由通路の整備 (都市計画課)	本市の玄関口としてふさわしい駅を中心とした南北市街地の均衡ある発展を図るため、J R 菊川駅南北自由通路の整備を促進します。	J R 菊川駅南北自由通路整備工事に着手するための令和4年度に予定する南口駅前広場仮設工事を完了します。	A	J R 菊川駅南北自由通路整備工事に着手するための令和4年度に予定した南口駅前広場仮設工事を完了しました。 引き続き令和5年度も南口駅前広場仮設工事を進め、南北自由通路整備に必要な仮設ヤード整備を完了します。
8	道路施設の長寿命化 (建設課)	道路ネットワークの維持及び長寿命化を図るため、橋梁の点検・補修工事及びトンネルの補修工事を実施します。	令和4年度に予定する長寿命化事業を完了します。	A	令和4年度に予定した点検業務、橋梁及びトンネル補修工事を完了しました。また、国の追加補正などによる、点検業務、実施設計業務委託3件・補修工事2件について事業の前倒しにより繰越事業として令和5年度に実施します。
9	住宅・建築物等の耐震化の促進 (都市計画課)	耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震化及び危険なブロック塀の撤去・改善を推進するとともに、防災上重要な道路沿いにあり、倒壊による道路閉塞を防止する必要がある建築物の耐震化を進めます。	補強工事10件を達成します。 (令和3年度実績：3件)	C	補強工事の実績は6件でした。ダイレクトメールによるアンケート結果によると耐震補強をしない理由に、「対策の意思はない」との意見が半数以上を占めております。 TOUKAI-0事業は令和7年度で終了予定であるため、補強工事が促進されるよう、引き続きPR活動を実施します。また、耐震補強工事を検討している方に対して、資料送付や戸別訪問等を行います。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
10	幹線道路の整備 (建設課)	生活環境の向上や通学路の安全対策、公共施設への連絡として市内東西交通の幹線道路である大須賀金谷線の道路改良整備事業の早期完成を目指します。	令和4年度に予定する大須賀金谷線の道路改良整備を完了します。	A	令和4年度に予定した道路改良整備を完了し、計画起点より0.3kmの整備が完了しました。 引き続き令和5年度も道路の安全と利便性の向上を図ってまいります。